

令和7（2025）年度 事業計画書

（令和7（2025）年8月19日～令和8（2026）年7月31日）



1.基本方針

(1) 教育への支援

当財団は、物流・ロジスティクス分野を学ぶ学生の教育支援を重視し、学生が経済的事情に左右されることなく学びを継続できるよう奨学金を支給し、次世代の産業を担い社会の発展に貢献する人材の育成を目指す。

(2) 経済的サポートの架け橋

生活環境や経済的理由により、学資金支弁が困難な学生に対し奨学金の支給を行い、学費や関連費用の負担を軽減し、学生が学業に集中できる環境を整えることを目指す。

(3) 次代への社会貢献

奨学金を受けた学生に対して将来的な社会貢献を期待し、学生が学んだ知識や技術を活かし、物流業界の発展に貢献することを目指す。

(4) 透明性と公正性の確保

当財団は、透明性・公正性を確保するのみならず、公益法人ガイドラインに基づき、次のコンプライアンス体制を徹底する。奨学金選考委員会規程、利益相反管理規程、個人情報保護規程等を整備し、適正に運用すること。選考委員会は外部有識者を過半数とし、利害関係者を排除して恣意性のない選考を行うこと。さらに、選考過程及び結果は理事会で報告・承認を受け、その決定内容を適切に公表すること。加えて、事業実施結果は事業報告書にまとめ、評議員会および内閣府に報告することで、透明性の高い情報公開を行う。

2.事業活動

(1) 奨学金事業

当財団は、物流・ロジスティクス分野を志す国内の大学生・大学院生に対し、経済的理由で学びを断念することのないよう奨学金を支給し、次世代の産業を担う人材の育成と社会全体の発展に寄与することを目的とする。

① 物流・ロジスティクス専攻学生奨学金事業

学生27名(予定)を採用し奨学金の給付を行う。

奨学金は一人年額360,000円(月額3万円の12か月)とする。

② 応募資格

当財団の奨学生となる者は物流・ロジスティクスを学ぶ四年制大学生および大学院生であり、次のいずれにも該当しなければならない。

ア.日本国籍を有し、学資の援助をすることが必要であると認められる者

イ.将来社会的に有益な活動を目指す者

ウ.学業成績が優秀であること（下記の項目に該当すること）

- ・在校生の場合、大学入学時から直近までの学業成績において、G P A（平均成績）が2.4以上であること
- ・新入生の場合、高等学校等における評定平均が3.5以上であること
- ・高等学校卒業程度認定試験の合格者であること

③ 受給期間

令和7（2025）年4月1日～令和8（2026）年3月31日まで

④ 奨学金

27名を上限とし、年額36万円（返還の義務なし）を給付

給付方法：月額3万円の12か月分（36万円）を理事会開催後、1か月以内に、本人名義の銀行口座に送金する。

⑤ 応募期間

令和7（2025）年9月16日（火）～10月31日（金）※消印有効

⑥ 応募方法

HPからの申請もしくは下記の必要書類を郵送にて提出

ア.願書（顔写真貼付）もしくは家族状況届

イ.学生証のコピー

ウ.収入を証明できる書類（家計支持者の前年度分の源泉徴収票など）

エ.成績証明書（出願受付期間内に発行されたもの）

※新入生は前年に在籍のあった学校の成績証明書を提出してください。

オ.下記の書類のうち該当するもの

イ) 標準化G P A 計算書（在校生/直近の学歴が大学等の新入生）

ロ) 学習成績の状況計算書（高校卒業後の新入生）

ハ) 高等学校卒業程度認定試験合格証明書（新入生で該当する場合）

カ.一次選考通過者のみ以下の論文を提出いただきます。

<論文テーマ>『物流・ロジスティクス分野に進学した動機と、将来の夢・目指す職業像について』

（論文には、① なぜ物流・ロジスティクスを専攻する学校へ進学したのか、② 将来

の夢及び目指す職業について、具体的に記載するようにしてください。論文は400字以上、800字以内)

⑦ 選考方法

奨学生を選考するために、当財団の奨学金選考委員会規程に基づいて外部有識者を過半数とする選考委員会を設置し、個人情報保護・利益相反管理を徹底。理事会の承認を経て奨学生を決定する。

⑧ 審査結果の通知

当財団の選考委員会による公正な審査及び、理事会の決議を経て理事会開催後2週間以内に審査結果を文書にて応募者にお知らせする。

(2) 活動報告

奨学金を受けた学生からの終了報告をHPに掲載するとともに、事業報告書を理事会・評議員会で承認後、内閣府へ提出し、透明性を確保する。

以上